

**C** 10/25(土)9:50-12:50 (受付開始 9:00)

## 関節リウマチ治療の最前線

### 講座情報

関節リウマチは慢性の炎症により関節が変形し、杖や車椅子の使用を余儀なくされる進行性の病気です。近年、治療体系が大きく変貌しました。治療目標はかつての痛みを和らげるのではなく、できる限り早く寛解を達成することです。そのため、疾患活動性、将来の関節破壊進行を予測する因子、合併症などに基づいて頻繁かつ厳密な薬物療法の調整が求められます。変革の推進力となったのは、①早期診断の徹底と②病態に関わるサイトカインや免疫担当細胞を標的とした生物学的製剤の導入です。生物学的製剤の使用には、感染症、高コスト、非経口の投与経路など課題が残されていますが、感染リスク管理、バイオシミラーやシグナル伝達を阻害する低分子化合物の導入により、ほとんどの患者に最善の医療を提供できるようになっています。

### 講演者情報

**桑名 正隆**

慶應義塾大学医学部内科学(リウマチ)准教授